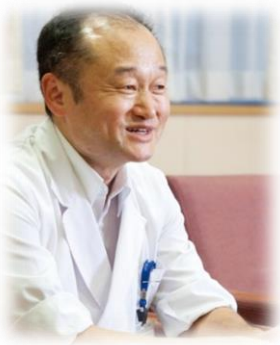
雲南市立病院
地域医療人育成センターだより

第5号

平成28年5月12日 発行
発行者：雲南市立病院総務課
住所：〒699-1221
島根県雲南市大東町飯田96番地1
電話番号：0854-43-2441
ホームページ：http://unnan-hp.jp/
フェイスブック
https://www.facebook.com/unnan.city.hospital

地域医療人育成センター所長　ご挨拶



所長　森脇　義弘

「当院は小規模病院だが、住民の期待と医療を守るのは住民自身という強い意志が感じられる。医師も一生高次病院で働き続けるわけでなく、いずれ、高難度の専門的診療から引いて地域の医療を支える立場になる。生涯の一時期でも当地で医療活動することで、住民から力を貰え医師としても大きな財産を手にすると約束できる」と宣伝したい…。もし、短期間でも当地での経験を希望する若者が現れたら、皆で育て大海に送り出しましょう。

地域医療人育成センター　体制

所　長　　森脇 義弘（副院長）

副所長　　板持 さとみ（看護部長）　奥田 淳三（外科医長）　永瀬　正樹（内科医長）

事務局　　雲南市立病院 総務課総務係・企画係

H27年度　実績

① 地域医療を目指す医師、看護師を中心とする医療職の育成

島根大学地域枠推薦入学者（雲南市出身の医学生）の確保や医療体験実習の受け入れ、意見交換会などを行っています。これまでに多くの地域枠推薦入学者（医学生19名、看護学生15名）が雲南市から誕生し、そのうち**8名**が看護職として当院に従事しています。
H27年度は37名の看護学生を受け入れました。

② 島根大学医学部等および島根大学医学部付属病院との連携

当院の研修医や若手医師が、県内の教育リソースを活用出来るとともに、若手同士の交流の場を整え、孤立せず研鑽を積める環境づくりとして、H27年度ブラッシュアップ講習会に参加しました。

③ 医学生による地域医療研修及び地域医療実習

大学では体験できない地域医療の現場で医療の本質に対する理解を深めるため、島根大学医学部5年生、6年生の実習を受け入れました。
H27年度は21名の医学生を受け入れました。

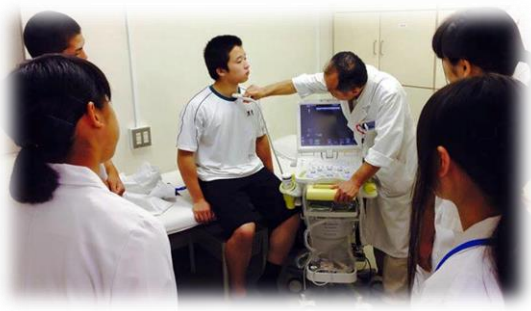
④ 初期・後期臨床研修医の募集及び指導

島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院などの協力型病院として、初期研修医（２年目までの医師）の地域医療研修の受け入れを行いました。H27年度は9名の研修医を受け入れました。

⑤ 初期・後期臨床研修プログラムの作成

地域に必要な家庭医・総合医のマインドを持った各専門医を継続的に養成するため、後期研修プログラムと育成体制の整備を行いました。

⑥ 小中高校生などの職場体験活動



雲南市教育委員会や各教育機関および県教育委員会などと連携し、地域に将来、医師や看護師をはじめとする医療職を志すこどもたちを育てる事が目的です。H27年度も中学生高校生体験を受け入れました。
高校生：50名　中学生：43名

⑦ その他、病院事業管理者が必要と認める業務

H27年度は市報へ記事掲載、病院facebookページの更新、育成センターだより発行3回、医療見学ツアー1回を行いました。見学ツアー参加者や参加者の口コミで雲南を知った方の中から、雲南市に個別訪問された方、県外の医学生の実習希望などがありました。

地域医療人育成センターH28年度事業予定

① 地域医療を目指す医師、看護師を中心とする医療職の育成

島根大学地域枠推薦入学者（雲南市出身の医学生）の確保や医療体験実習の受け入れ、意見交換会など、引き続き行っていきます。

地域枠推薦の学生さんとの交流を定期的に開催しています！

② 島根大学医学部等および島根大学医学部付属病院との連携

県内で研修中の初期後期研修医等が一堂に会し、若手医師の参考になる講演会等及び意見交換会を行い、県内研修医の研修環境全般のレベルアップを引き続き目指しています。

③ 医学生による地域医療研修及び地域医療実習

今年度から一定基準を満たした学生にはスチューデント・ドクターの称号を与え、病院内で診療チームのメンバーとして実診療に従事してもらっています。また実習以外では、夏季休暇などを利用した自由選択実習や病院見学なども積極的に受け入れます。

スチューデント・ドクターとして、責任を持った実診療を行っています！

④ 初期・後期臨床研修医の募集及び指導

協力型病院として、県内の研修医を受け入れます。

⑤ 初期・後期臨床研修プログラムの作成

今年度は新専門医制度スタートに合わせて、雲南病院総合医育成プログラムを作成し、新専門医機構の認定を得ます。指導医や研修医の意見を反映さ、プログラム内容の充実や育成体制の構築に力を入れていきます。外科、整形外科などの専門医取得のバックアップも引き続き行います。

⑥ 小中高校生などの職場体験活動

雲南市教育委員会、各学校教育機関、県の教育委員会と連携し今年度も行っていきます。

⑦ その他、病院事業管理者が必要と認める業務

地域医療人育成センターだよりの発行数増加、病院Facebookページの更新、医学生や医療関係者向けの雑誌や電子媒体への広報などを通じて、地域医療人育成センターの活動を広くPRしていきます。

今後も、「地域医療人育成センターだより」を継続的に発行し、センターで行っている地域医療を担う人材育成の取り組みを紹介していきますので、よろしくお願いいたします。